

帝キヨシ屋時代映畫

おきぬ  
脚色者新吉  
監督者十鶴  
撮影者

## 主要役割

近松  
高山下秀門

高橋武則氏

松枝鮎子嬢

尾上松川實中村綱十郎福氏

岡延笑氏

紅三郎太郎氏

久野誠太郎氏

あかね嬢

（略筋省略）  
明治初年頃、漫草を代表した美人として佚名を

詠ばれた原田おきぬ（後に断頭臺に上され、死んで夜嵐の覺めて跡なし花の夢）、云ふ俳句を残して

死んだので夜嵐おきぬと云はれた。」の實傳を

脚色した物語で、（舞臺では久保田清などが得意

の出しものであつた）ある。傳へられて居る實傳を

だけでも相當變化に富んだ物語であるし、主人公のおきぬの性格など面白い點があるから、脚本家

の如何に依て充分映畫になるものであるから、脚本家

傳された離婚夜嵐お絹の物語で、松枝鶴子嬢の得意の离婚夜嵐お絹である。二月

十日、大阪芦邊劇場、神戸相生座、京都キネマ

歌舞部等封切

興行價値

高橋お傳等と共に明治初年頃に喧

山本緑葉